

PTA活動紹介		部門	安全
学校名	愛知県立杏和高等学校	No	1
活動テーマ	防犯パトロール		
開催日	各学期ごとに連続4～5日(延べ14日間)		
場所	学校から最寄り駅(名鉄森上駅)までの通学路および周辺地域		
時間	1学期は早朝(通学時7:50～8:20) 2・3学期は夕刻(下校時:17:50～18:50)		
参加者	全PTA会員707名の中から希望を募り参加していただく形式		
趣旨	交通事故や不審者による被害は、全国いたるところで時と場所を選ばず発生しています。本校の通学区内だけが安全ということはありません。「子ども達の命と安全を見守る」ことを主眼に置き、PTAとして何かできないかとの思いから、開校以来様々な改善を試みつつ伝統的に取り組んでいる活動です。		
活動ポイント	PTAが通学路に立ち、パトロールをしながら子ども達に声かけをする、啓発活動・防犯活動を行っています。現実に活動する姿やその心が、被害者になり得る子ども達や加害者になるであろうドライバー・不審者に確実に伝わり、悲しい被害の防止に一役買っています。		
主体委員会名	杏和高校PTA生徒愛護委員会と保護者ボランティア		

【活動の紹介】

1 本校の概要

愛知県立杏和高等学校は、平成17年4月1日、愛知県立祖父江高等学校と愛知県立平和高等学校が再編整備され、全日制総合学科として開設されました。平成26年度、創立10周年を迎え、本年からは気持ちを新たに、次の10年に向けて第一歩を踏み出した若い学校です。

2 本校のPTA

本校PTAは、会長1名、副会長2名(2年・1年各1名)、5つの委員会の正副委員長各2名の役員13名を中心に、各学年20名前後の専門委員を加え、総勢約80名の大組織で活発な活動を展開しています。5つの委員会は、進路委員会・研修委員会・部活動委員会・広報委員会・生徒愛護委員会です。今回、PTA活動紹介をさせていただくのは、生徒愛護委員会が中心となって行っている、『PTA防犯パトロール』です。

3 PTA防犯パトロールの概要

【趣旨】

「大切な子ども達の命と安全を見守る活動」をスローガンに、最も地味で大変ではありますが、一番大切な活動だと認識して取り組んでいる活動です。交通事故や不審者からの被害ゼロを目指しています。

【活動実施までの主な流れ】

- 新年度、PTA総会後の第1回PTA役員会・委員会にて基本方針が提案されます。原案の審議・決定後、活動は具体的・本格的にスタートします。
- 全校のPTA会員(保護者)あてに参加案内募集プリントを配付し、参加者を募ります。
- 参加希望者を集約し、連絡・案内プリントを再度一人ひとりにお渡しし、当日を迎えます。
- 生徒愛護委員長は、黄色のパーカーと点滅誘導棒を準備し、班分け・パトロール場所の計画等を考えます。
- 活動当日、集合場所に集まり、具体的な活動の指示・打合せを行います。
- 必ず複数人で班行動をします。何か発生した場合の対応と参加された方の安全のためです。
- 交差点では交通安全立ち番を行い、時には範囲内の危険箇所を探してパトロールを行います。(不審者への防犯アピールのためには、移動パトロールはとても効果的です。)
- 活動中、何人もの子ども達が目の前を通ります。必ず、「おはようございます」「いってらっしゃい」「さようなら」「気をつけて」と、こちらから一声かけるようにしています。



(子ども達から、挨拶や「ありがとうございます」と感謝の言葉が返ってくると、心が温かくなります。)

- i 限られた活動時間ですが、終了時間になったら再度集合していただきます。
- j 本日気づいた点などを報告し合い、会長・生徒愛護委員長など、役員さんからお礼の挨拶をしていただき解散します。
- k 昨年度からは、私どもと一緒に、より多くの先生方にパトロールをしていただいています。
(保護者と先生方が力を合わせて、子ども達の命と安全を守る活動ができることを嬉しく思います。)
- l 1学期・2学期は、期間中1日は0の日に活動します。担当生徒さんと一緒に「0の日立ち番」をします。
- m H27年度実施日は、6/8(月)～12(金) 10/26(月)～30(金) 1/12(火)～15(金) です。

【参加された方の主な感想】

- a 子ども達の登下校の様子を生で見ることができ、何が危険で何を注意すべきかがわかりました。
- b 2学期・3学期の下校時刻は、完全に日没後の真っ暗な状況です。全てが明るい道という訳ではないため、少し「怖い」と感じました。改めて気をつけるよう子どもに話をしたいと思います。
- c 通学路でも、暗い箇所はいくつもあります。街灯を付けてもらえるよう市に交渉して欲しいです。
- d 一人で帰る女子生徒がいて、とても心配になりました。思わず、「気をつけてね」と声かけをしました。
- e 早朝は、遅刻を意識するためか、無理な自転車運転をする子がいて驚きました。本当に危険です。
- f 他にも危険な場所があります。大変ですが範囲を広げて活動できないでしょうか。
- g 朝晩、正直忙しい時間帯で大変ですが、気づくこと・考えさせられることが多くあり、参加して良かったです。次回もできれば参加協力させていただきます。
- h 立ち番・パトロールをしていると、生徒さん達から先に声をかけてくれることが多々ありました。また、私達の声かけに笑顔で反応してくれる生徒さん達には、幾度となく心が癒やされました。暖かいふれあいを実感できました。

【課題と改善点】

感想にもありましたが、毎回皆さんが一番忙しい時間帯での実施になります。広く全保護者を対象に案内をしますが、なかなかご参加いただけないのが実態です。しかし、本校PTA活動の大切な取組みです。その流れを途絶えさせる訳にはいきません。常に様々な工夫や改善を重ねて実施してきました。以下に少し紹介いたします。

- a 夕方は、下校時刻との兼ね合いで実施時間を少し遅らせ、仕事帰りの参加を可能にした。
- b 1日の参加・短時間での参加も大歓迎ということで広く呼びかけをした。
- c PTAの様々な会議や行事でも、無理のない範囲で積極的に参加勧誘を行った。
- d 参加された方に、次回は仲間を誘ってもらえないかと依頼をした。
- e 本校は、PTAメール配信システムを導入している。案内文書だけでなく、メールでも勧誘をした。
- f 先生方にも、一緒に活動していただけるようお願いをした。
- g PTAホームページに活動報告記事を掲載することで、PTA防犯パトロールの大切さや魅力を理解してもらおうよう努めた。写真も掲載することで、少しでも活動の雰囲気伝えるようにしてみた。
- h 黄色パーカーを全員に配付し、夜間パトロールに欠かせない点滅誘導棒を20本新たに購入した。

少しずつ努力を重ねた結果、平成27年度2学期実施時は、過去最高の参加人数で活動することができました。毎日12～13名の参加者、延べ60名近い方にご参加いただけたおかげで、範囲を新たに拡大して活動もしました。先生方の参加も多数いただき、多くの目で子ども達を見守ることが可能となり、充実した防犯パトロールになりました。

しかしながら、役員さんや生徒愛護委員の方々・特定の方々に頼る部分が大きいのが現状です。一人でも多くの一般会員の方々にも引き続き協力を働きかけ、安定的に充実した防犯パトロールに育てていきたいと考えています。さらに、活動を通じて得た貴重な気づきを、学校や家庭で確実に子ども達に伝えることで、杏和高校のこれからの交通安全と防犯に活かして参ります。

PTA活動紹介		部門	安全
学校名	愛知県立緑丘商業高等学校	No	2
活動テーマ	防災訓練		
開催日	平成27年11月19日(木)		
場所	緑丘商業高校 第1グラウンド(雨天時は体育館及び教室)		
時間	14時20分～15時10分		
参加者	全校生徒、教職員、PTA役員理事、一般保護者、自衛隊関係者、名古屋市消防局関係者約800名		
趣旨	通常の防災訓練と合わせて、自衛隊の協力を得て炊出し訓練を行う。 PTA役員理事は、自衛隊と協力し炊出し訓練を行う。 名古屋市消防局による煙体験も行う。		
活動ポイント	教職員、生徒、保護者、名古屋市消防局、自衛隊が協力して、防災訓練を行う。		
主体委員会名・講師名等	本校、名古屋市消防局及び自衛隊		

実施内容: 南海トラフ巨大地震発生を想定した避難訓練

- 大規模地震発生(想定)
職員は職員室へ集合、生徒は各教室待機
- 職員打ち合わせ、職員は各所へ配置につく
- 避難開始(誘導は担任)
避難場所にて点呼
生徒数報告
点呼完了
- 学校長講話
- 自衛隊担当者講話
- 煙体験、自衛隊の災害救助パネル展示見学、炊出しおにぎり試食
- 自衛隊、名古屋市消防局、PTA役員理事の方々へあいさつ



メール送信先 info@aichikouren.org

PTA活動紹介		部門	安全
学校名	愛知県立岡崎聾学校	No	3
活動テーマ	教育講演会		
開催日	平成27年11月6日(金曜日)		
場所	岡崎聾学校 体育館		
時間	9時40分～11時00分		
参加者	中学部、高等部の生徒 54名 幼稚部から高等部までの保護者(希望者のみ) 21名		
趣旨	東日本大震災を実際に体験された語り部から震災によって得られた教訓について話を聞くことで、防災意識の向上を図り、発生が予想される南海トラフと地震等の広域大規模災害に備える。また、生徒と一緒に聞くことで、家庭での話題とし、災害に対する意識を高める。		
活動ポイント	保護者と生徒と一緒に講演を聞くことで、家庭での災害に対する意識を高める。		
主体委員会名・講師名等	平成27年度東日本大震災津波等語り部派遣事業を活用 講師: 関上震災を伝える会 菊地訓子氏		

「講演内容」

演題:「命をつなげるために」東日本大震災から学んだこと

- ・講師経歴
- ・宮城県、閉上地区の紹介
- ・震災の前の閉上地区の様子
- ・震災の瞬間
- ・震災時…街を埋め尽くした津波・火災
- ・震災翌日…様子、救助活動、津波の力
- ・なぜ閉上の住民約750名が亡くなったのか?
- ・あれから4年後
- ・これからの閉上
- ・東日本大震災から学んだこと
- ・命を守るために。命をつなげるために大切なこと
- ・皆さんにお願いしたいこと
- ・震災の中で子どもたちの行動
- ・震災後 学校が心の拠り所

◎命を守ることの大切さについて、ご自身の経験をたくさんの写真とともにお話いただいた。これから求められることとして、防災教育の充実、減災、地震時の行動、「危険な場所には戻らない」、「家族間で知っておくこと」、「近所のコミュニケーション」等、命を守るための行動を教えていただいた。また、命を大切にすること、震災時の人と人のつながり、他人を思いやる心、あきらめない気持ちの大切さなど、心の面での大切なこともたくさん教えていただいた。講演をお聞きして涙が止まらない保護者もいらした。生徒らが書いたお礼状の中では、家族で話し合いたいという言葉が多数書かれていた。

「講演会の進め方」

司会進行: PTAグループ活動班が中心となって進める。

- ・開会の言葉
- ・PTA会長挨拶
- ・校長挨拶
- ・講師紹介
- ・講演
- ・質疑応答
- ・生徒代表(生徒会長)お礼の言葉

PTA役員が司会進行を行い講演会を進めている



話を聞き、内容を理解しようと手話通訳者を熱心に見る生徒たち



お礼を述べる生徒会長

PTA活動紹介		部門	安全
学校名	愛知県立半田特別支援学校桃花校舎	No	4
活動テーマ	保護者向けスマートフォン安心利用講演会		
開催日	平成27年10月7日		
場所	桃陵高校医学講義室		
時間	10時00分～12時00分		
参加者	保護者32名 内訳 1学年保護者 9名 2学年保護者11名 3学年保護者10名		
趣旨	携帯電話やスマートフォン(以下、「スマホ等」という。)が急速に普及し、子どもたちがインターネットを介した犯罪や被害に巻き込まれる事案が後を絶たない中、まずは、大人がスマホ等に対する知識や理解を深め、保護者としての責任をもつことを目的とする。		
活動ポイント	保護者が講演を聞き、実際にスマホを操作することでその機能を知り、家庭内での教育に生かす。		
主体委員会名・講師名等	愛知県の受託業者「縁(ゆかり)エキスパート株式会社」		
<p>「講演のポイント」</p> <p>◎スマホに潜む危険 (スマホによる体験) ネットトラブル パソコンで発生している問題は、スマホでも発生する。またSNSで知り合った人が悪意を持って近づき、犯罪に巻き込まれる可能性もある。</p> <p>①迷惑メール ②ワンクリック詐欺 ③高額請求 ④出会い系アプリ ⑤アダルトサイト</p> <p>事例 ①無料通話アプリでいじめ 仲間はずれ 悪口 無視 即返信のプレッシャー ○予防対策 無料通話アプリを快適に使うための方法を親子で一緒に考える。子どもと同じアプリを試しにしてみる。</p> <p>事例 ②プライバシーの侵害 個人情報ネットに流出 ○予防対策 家庭内での話し合い。プライバシー権や肖像権を尊重。本人の許可無く他人の写真や文章をネットにアップしない。</p> <p>事例 ③コミュニティサイトで悪ふざけ 炎上 高校生がバイト先で、冷蔵庫に入っている写真をツイッターに投稿、瞬く間に拡散し炎上。全国紙の新聞にも掲載され、サイトには本人の個人情報が載り、そのバイト先は閉店に追い込まれ、高額な損害賠償をするこ</p> <p>メール送信先 info@aichikoupren.org</p>			
<p>とになった。高校生は退学になり、軽い気持ちで行った行為はネット上に消えることなく残り、本人の人生において大きな代償を払うこととなった。</p> <p>○予防対策 未成年でも社会的責任を持っていることを認識させる。</p> <p>事例 ④著作権法違反・不正アプリ 無料ダウンロードサイトからほしい曲をダウンロードし、友達に紹介するつもりでインターネット上にアップロードしたところ、情報が拡散。著作権法違反でレコード会社やゲーム会社から警察に通報され検挙された。スマホの電話帳データにアクセスして個人情報抜き取る不正アプリをダウンロードしてしまい、架空請求の被害に遭うケースもある。</p> <p>○予防対策 ウイルス対策ソフトやセキュリティアプリを導入。</p> <p>事例 ⑤ゲームアプリで高額請求 クレジット決済で有料ゲームアプリを購入した。一度購入すれば後は無料と考えていたが、翌月思いもよらない高額請求を受けることになった。最初にカード登録をすれば以降はパスワードとID入力だけでアイテムを購入できる仕組みで、気づかないうちに多数の有料アイテムを購入してしまっていることに気づいた。</p> <p>○予防対策 子供が使うサービスにクレジットカードを登録しない。インストールは保護者が行う。</p> <p>事例 ⑥コミュニティサイトで性犯罪被害 ID交換掲示板で知り合った男性と無料通話アプリでのやりとりを始めた。楽しく会話をしていた中で不都合な事実を知らせたことで、急に「その事実を知らされたくなければ、裸の写真を送れ」と脅してきた。要求を聞いて送ったら直接会うように迫られ「裸の写真を送らなければならなかったら言うことを聞け」とエスカレートしてしまった。</p> <p>○予防対策 会ったこともない人を信用しない。怪しくないサイトにも危険は潜んでいる。</p> <p>◎子どもを守るための3つのポイント</p> <p>1 保護者自身が学ぶ</p> <p>①スマホの利便性と危険性 ②インターネットを子どもの成長にあわせて適切に利用させる方法 ③スマホで機能と設定方法</p> <p>2 フィルタリングを利用</p> <p>①有害情報閲覧制限・ブロック機能 ②利用時間の制限・利用状況の確認 ③年齢や成長に合わせた設定可能 ④Wi-Fiにも対応</p> <p>3 家庭のルールを作る</p> <p>①食事中や会話中にはしない。 ②風呂場でしない。 ③就寝時には家族が集まる場所で充電をする。 ④スマホで買い物はしない。 ⑤困ったら相談する。 ⑥人の嫌がることは書かない。</p>			
<p>講演会の様子</p> 			

PTA活動紹介		部門	安全
学校名	東郷高等学校	No	5
活動テーマ	年末交通安全週間 交通安全指導		
開催日	平成27年12月7日(月)から12月11日(金)		
場所	東郷高校周辺 3地点		
時間	8時～8時30分		
参加者	PTA生活指導委員会と生徒指導部員及び各学年職員		
趣旨	生徒に交通法規を遵守させるとともに、交通マナーの向上を促す。ルール・マナー違反、身だしなみ、挨拶等の指導をおこなう。また、本校生徒の登校時の様子を見ていただくとともに、教員との情報交換の場とする。		
活動ポイント	保護者が本校の通学状況の現状を知り、他のPTA会員への情報の発信源とする。		
主体委員会名・講師名等	本校PTA特別委員会(生活指導委員会)		
1 指導内容			
(1) 交通法規・マナー			
① 生徒に交通法規を遵守させるとともに、交通マナーの向上を促すよう、適切な指示をおこなってください。			
② 特に危険な生徒のルール・マナー違反(傘さし・二人乗り・信号無視・ヘッドフォン着用)については傘・電子機器等を預かり、学年の指導部担当の指導を受けるようにご指示ください。			
(2) 身だしなみ			
ボタン外し、ズボンの腰ばき、スカート丈を短くしているなどを中心に指導を行ってください。			
(3) 挨拶の励行			
本校生徒のみならず、小・中学生や地域住民にも挨拶を行いましょう。			
(4) 交通安全旗			
生徒への指示に用いるほか、通行中のドライバーに見えるよう掲げてください。			
2 場所			
春木台3丁目交差点 ・ 春木台南交差点 ・ 資材置き場交差点			
メール送信先	info@aichikoupren.org		